

生命環境科学研究科山岳科学学位プログラム学位論文（修士）審査基準

（審査体制）

山岳科学学位プログラム内に修士論文審査委員会を設置する。この委員会は、主査1人及び副査2人以上で組織するものとし、必要がある場合は、本学の他研究科、他大学の大学院（連携する大学院を含む。）又は他の研究所等の教員等を副査として加えることができる。この修士論文審査委員会は論文審査の合否判定の任を負う。

（評価項目）

- ① 論文の問題設定が明確に示され、山岳科学分野において学術的あるいは社会的な意義を有するとみとめられるか。
- ② 研究主題の探求に際して、利用した文献や資料が適切に提示及び評価され、論旨を展開するうえで適切に言及されているか。
- ③ 研究主題探求のために採用された、理論、実験、調査などの研究方法は適切か。
- ④ 問題設定から結論にいたる論旨が実証的かつ論理的に展開されているか。また導き出された結論が山岳科学分野において新規性または有用性があるか。
- ⑤ 学位論文として体裁が整っているか。

（評価基準）

上記①～⑤の評価項目すべてについて、修士学位論文として水準に達しているとみとめられるものを合格とする。